

## ★「そうじゃ家族の日」ポスター



「毎月第3日曜日は『そうじゃ家族の日』を周知するポスターができ、公民館や小・中学校、医療機関などで掲示しています。

ポスターにあしらわれている写真は、昨年11月、「家族のきずな」をテーマに募集した携帯写真コンテストの応募作品。応募のあった59家族すべてが登場しています。

子どもにとって一番の心のよりどころとなるのが家族です。忙しい日々の生活のなかで、「家族のきずな」を大切にしてほしいと願いポスターを作りました。家庭のみならず、事業所でもこの視点から、家庭と仕事の両立に向けた仕組みづくりが進めばと思っています。

子育て王国そうじゃを支える最小の集まりが家族です。その家族のきずなが深まることで、子育て王国そうじゃの礎となります。



インタビュー Interview



輝いている人

## 有機栽培で生計が成り立つモデルを作りたい

農林水産省が認定する「農業技術の匠」に選ばれたのが、ニンジンや米などの有機栽培に取り組んでいる香西達夫さんだ。生産性の向上などの技術を自ら開発・改良し実践する農業者をいう。匠は全国で42人。香西さんは有機ニンジンを生産する大規模に生産する匠だ。決定の知らせに「まさか」と驚いたそう。

自然の仕組みに逆らわないのが有機栽培。「使える農薬もない」と言う。排水対策や病害・雑草防除の技術などを駆使し、有機ニンジンを生産している。

播種の前に畝をビニールで覆い、太陽熱を使って雑草の発芽を防ぐ。根菜のため排水にも気を配る。大規模生産には農作業の省力化も重要で、鉄パイプの運搬用にと乗用管理機に改良を加えたものを使う。「失敗

有機ニンジンの大規模生産で農業技術の匠に選ばれた

香西 達夫さん(秦)

も経験し、より効率のよいものを追い求めている」。継続することで高い技術が習得できると熱く語る。

有機栽培を始めたのは父親の跡を継いだ28年前。いろいろ作ったが、最後に残ったのがニンジンだった。「最初の10年は惨たんたるもの」と、試行錯誤の連続だったことを振り返る。人を雇う経営形態にしたことや機械を入れ、軌道に乗せ、今は市内の学校給食用にも年間8トン程度納める。「定価格で全国に流通させられる有機栽培だから続けられた」とほほ笑む。

市有機農業推進協議会の会員として、きよね有機の郷の代表として、有機農業の普及や指導に務めている。「有機栽培で生計が成り立つモデルを作り、新しく始める若い人の手本になれたら」と将来を見据える。

### 栄養委員さん おすすめおやつ だご焼き風豆腐ボール



- ◆材料・数量 (30個分)
- A……木綿豆腐=100g、小麦粉=100g、卵=2個、牛乳=300cc、かつお節=10g、シーチキン=100g、キャベツ=150g、ねぎ=30g、しょうが=1かけ
  - B……ケチャップ=大さじ5、ウスターソース=大さじ1、砂糖=大さじ1と2分の1、水=大さじ3
  - 青のり、かつお節、油……適宜
- ◆作り方
- ①豆腐は水気を切りほぐす。野菜は細かく刻む。
  - ②Aを混ぜ、うすく油を塗ったたご焼き器に、流し入れて焼き上げる。
  - ③Bを合わせて火にかけてソースを作る。お好みで青のり粉、かつお節をふりかける。
- ◆アドバイス  
木綿豆腐の代わりに、おからを使っても栄養満点。